

SISニュースレター

第6号 2024年6月28日発行

発行:坂井市国際交流協会事務局(田辺)

〒919-0413 坂井市春江町随応寺17-10

坂井市役所春江支所3階

Tel:0776-50-3850, Fax:0776-50-3851

sakaishikokusai@gmail.com

<https://www.fsis.jp>



■活動報告(時系列)

◆3月28日(木) 市委託事業納品(事務局)

2023年度の事業として「外国人のための生活ガイドブック作成業務」を受託、日本語部会およびSIS通訳・翻訳サポーターに登録の会員のサポートを受けてやさしい日本語、ベトナム語、中国語、英語版の4種類 各150部、合計600部を作成、3月28日、市に納品しました。市の業務の円滑な運営に活かされていくことになります。会員の皆さまありがとうございました。引き続き市の協会として貢献していきたいと思っております。



◆4月20日(土)13:00~17:00 SISファーム夏野菜植付け(生活支援部会)

2022年4月よりご縁あり無償で農地をお借りして運営しているSISファームですが、今年から面積が80㎡に倍増して、思い切った企画が可能になったので、公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会の助成も頂き、「ワールドガーデン」としてバージョンアップしました。

この日は、16名(内外国籍6名)参加の下、機械による耕耘、鍍での畝上げに始まり夏野菜を畑一杯に植えるとともに花の苗も植えました。二ヶ月経った現在、胡瓜、茄子、ピーマン、ズッキーニ、バジル、南京瓜、パセリ等がすくすく育っています。7月28日の収穫祭が楽しみです、奮ってご参加ください。



時:2024年7月28日(日)

時間	所	内容
9:00~10:00	ワールド ガーデン ショッピングセンターアミ駐車場隣	夏野菜の収穫(胡瓜・茄子・ピーマン・ズッキーニ・バジル・南瓜・パセリ等)
10:00~12:30	春江中コミュニティセンター 坂井市春江町随応寺 17-17	夏野菜カレー・スパニッシュオムレツ・サラダ調理・試食・後片付け

参加申し込み期間:6月17日~7月19日 定員:30名(うち16名は植え付け作業参加者) 参加費:無料

◆5月11日(土) 6月8日(土) 小噺プロジェクト 第一回、第二回お稽古 於:ハートピア春江(生活支援部会)

小噺プロジェクト、始まりました！江戸落語真打ち、蜃気楼龍玉師匠から指導を受け、外国人受講生が小噺を練習しています。インド人受講生は、母国のスタンドアップコメディを日本語に訳して小噺に挑戦しました。国によって笑うツボが違うのが面白いんです！8月3日の発表会に向け、お稽古、頑張っています。乞うご期待！



◆5月12日(日)14:00～16:00 令和6年度定期総会

場所：春江中コミュニティセンター 大ホール

本人出席 21 名、委任状出席 20 名、計 41 名（定足数 34 名）のご出席の下、令和 6 年度の定期総会が開催され、5 議案全て原案通り承認可決されました。今回は任期 2 年の理事/監事の改選期に当たり、新任理事の中村美寧氏、長谷川義彦氏、退任理事の山田秀樹氏からご挨拶がありました（退任理事の時岡夏海氏のご欠席）。

総会に引き続き、監事でもある東角操氏から「災害復旧ボランティアからみた能登地震」と題してご講演を頂きました。報道では伝えきれない様々なボランティア活動の紹介があり、例えば、「傾聴ボランティア」はとにかく被災された方の話を聞くとことはストレスの軽減になるとか、「技術系ボランティア」は倒壊した家屋から下敷きになった車（修理して使うため）、位牌、登記簿を取り出す要望が多かったとか、現場で活動された人にしか伝えられない実態をお話しいただき、出席者からはタイムリーな企画、よく理解できたという感想が聞かれました。（事務局）



◆6月1日(土)14:00～15:30 「聞かせてよ おとうさん」 ポーランド編(生活支援部会)

場所：恋人に捧げるバラ園 (キンダークリニックきかわ隣接)

ゲスト：ジュバ ミハウ さん (ポーランド出身 春江町在住)

伊藤 智恵さん (ジュバさんの奥さん)

コヴァルチク美咲さん (コヴァルチクさんは欠席 坂井町在住)

過去に2回「聞かせてよ お母さん」と題して開催しましたが、今回は趣向を変えて、おとうさんの視点からのお話をうかがいました。以下のように興味深いですね。

- (1) 国旗持参：赤い夕陽を背景に飛ぶ白い鷲を吉兆と思い赤地に王冠付きの白鷲を紋章にしたという言い伝えに由来する。上半分の白は白鷲、下半分の赤は夕陽と自由を求める戦いで流れた血を表している。
- (2) 言葉：ポーランド語は世界で一番難しい。発音が独特。動詞の変化が多く、名詞にも7つの格がある。語彙が多い。絵本と子供用アルファベット練習帳持参。
- (3) 教育制度：6:30 から夕方まで預かってくれる保育園。学校は大学もすべて無料。大学進学率 90%以上。制服はない。
- (4) 医療制度：すべて無料だが、病院は常に混雑。緊急の場合は私立病院に駆け込む。レオン君はポーランドで検診、日本で出産。母子手帳持参。3人とも日本で出産。医療関係者がいると病院で融通が利いて早めに診察してもらえる。
- (5) 食事：ポーランドのキャンディ試食。伝統菓子「ポソキ」敦賀高校生が商品化。「脂の木曜日」は慎み深い生活を送らなければならないキリスト教の四旬節直前の木曜日。窮屈な生活をする前にたっぷり楽しもうとポソキを何個も食べます。
ポーランドは5回食事。1回目：第一の朝ご飯シダニェ パンにハムやチーズをのせて食べたりスクランブルエッグやヨーグルト。2回目：11時頃 果物やサト'イッチ等軽めの食事、3回目：14:00～16:00 仕事や学校が終わって家族が帰宅した後にみんなで集まってお昼ご飯、メインの食事でスープや肉や魚のメイン料理 4回目：おやつ 5回目：夜ごはん サト'イッチが主流



◆6月1日(土)13:30~16:00 シャベリ場(日本語部会)

場所：春江中コミュニティーセンター 和室

参加者、31人 内訳：外国人12人(内訳；フィリピン人技能実習生6人、ミャンマー人技能実習生4名、中国人ALT1名、ブラジル人会社員1名)

日本人19人、(内訳：ゲスト4人、書道・折紙講師2人、SIS会員13人)

内容・参加者は、3グループに分かれて、15分毎に移動しながら対話者を変えて交流。

・折り紙/書道体験、ローズガーデン散歩(生活支援部会とのコラボ)

前身ISAでも行ったことのある「シャベリ場」をSISでもやってみようとなって、SISとしては初回となりました。「楽しかった、書道、折り紙が上手にできてうれしかった。いろいろな人と話せてよかった。男子がもっといたら良かった。」等の感想があり、また、やってみたいこととして日本的なイベント、盆踊り、凧あげ、お手玉、綾取り、お菓子作り、田植えや稲刈り、餅つき、茶道、そば打ち、ショッピング、畑、果物狩り、学校体験等、希望があり次回以降の参考にしたいと思います。



◆6月25日(火)14:00~15:00 四市国際交流協会2024年度第一回オンライン情報交換会(事務局)

今年度はSISが幹事となり、年3回実施予定。能登半島地震を受けて「冬の災害を想定した防災訓練のやり方について」をテーマとしました。能登半島に近い坂井市とその他の市との温度差もあったように感じましたが、このテーマを挙げたことでSISの取り組み(来年1月実施予定)が参考になるので、結果報告を期待しているとのこと意見を頂きました。

【主な活動予定】

7月13日(土) 小瀬プロジェクト第3回お稽古会(生活支援部会)

7月28日(日) ワールドガーデン収穫祭(生活支援部会)

8月3日(土) 小瀬プロジェクト発表会(生活支援部会)

8月24日~25日(土日) World Youth Camp2024[ちくちくぼんぼん](部会横断事業)

11月10日(日) さかい国際フェスティバル [春江西コミュニティーセンター](部会横断事業)

* 毎月第三水曜19時 理事会